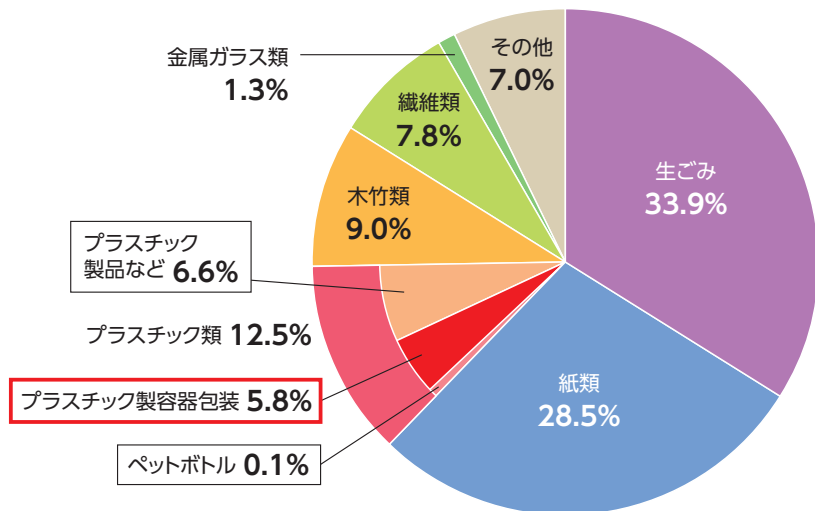


勘違いしやすいプラスチック製容器包装の分別

プラスチック製容器包装は、商品を入れたもの(容器)や包んだもの(包装)で、中身を使用した後に不要となるプラスチック製のものを指します。生活の中に使われているプラスチック製品は数多くあり、何がプラスチック製容器包装に該当するのかを厳密に考えると分別に迷うことがあると思います。「燃やすごみ」に含まれているプラスチック類は、全体の12.5%ですが、そのうちの約半数の5.8%が誤って混入したプラスチック製容器包装です(上・円グラフ)。また、混入した割合は令和2年の4.7%から少しずつ増加傾向にあります(下・棒グラフ)。

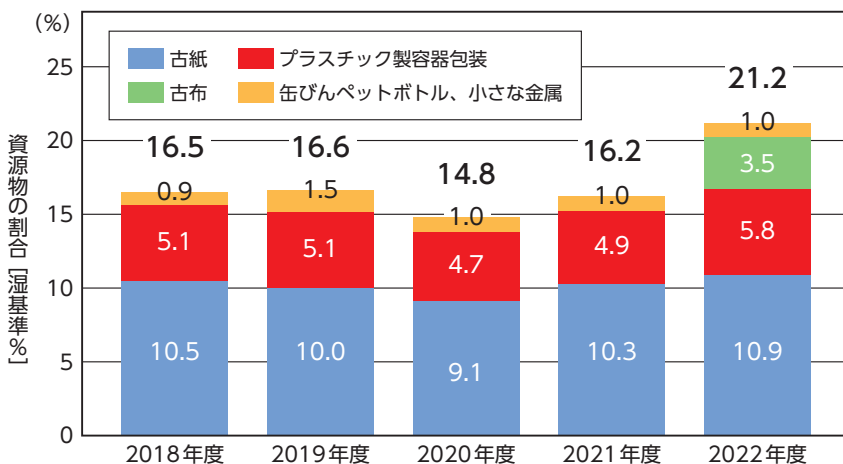
プラスチック製容器包装の分別の基本は、「プラマーク」が付いているものと覚えておきましょう。ただし、お店で購入した魚や肉、総菜などを包んでいたラップのようにマークがなくても該当するものがあり、さらに、購入したラップを自宅で使用した場合には「燃やすごみ」になるなど、同じラップでも分別が異なるケースもあります。判断が難しいものもありますが、日頃から分別を気にかけることが、燃やすごみへの混入の低下につながります。

■ 燃やすごみに含まれるプラスチック製容器包装の割合(2022年度)



(出典：横浜市資源循環局)

■ 燃やすごみの中に含まれる資源物の割合の推移



(出典：横浜市資源循環局)

■ 「プラスチック製容器包装」と「燃やすごみ」に分別するもの

プラスチック製容器包装に分別	品名	燃やすごみに分別
ボトル類	シャンプー、洗剤、乳酸飲料などのボトル	ビデオテープ、おもちゃ 洗面器などのプラスチック製品 クリーニングの袋 ラップ、歯ブラシ、ストロー、パケツ などプラスチックのみでできたもの
チューブ類	歯磨き粉、わさびなどのチューブ	
ネット類	野菜や果物が入っていたネット	
トレイ類	生鮮食品、総菜などのトレイ	
カップ・パック類	プリン、卵パック、コンビニ弁当、総菜などのパック	
キャップ類	インスタントコーヒー、ペットボトルなどのキャップ	
ポリ袋類	レジ袋、スナック菓子、お菓子などの包み	
ラップ類	食品や総菜を包むラップ	
緩衝材類	家電製品などに入っている発泡スチロール製緩衝材	
ラベル類	ペットボトルのラベル	

(出典：横浜市資源循環局)

まもなく始まる「プラスチックごみの分別・リサイクルの拡大」をご存じですか？

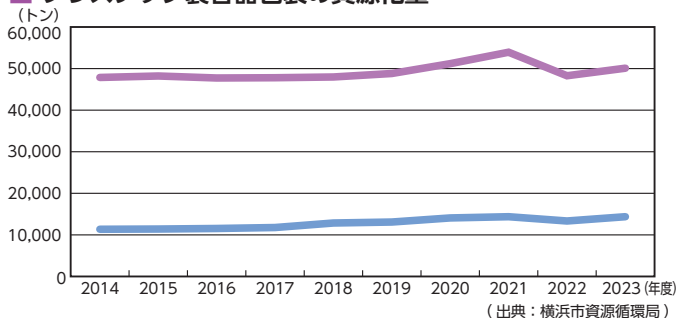
現在、横浜市では、「プラスチック製容器包装」と「ペットボトル」を分別収集し、リサイクルしていますが、今後は今は燃やすごみとしているラップや歯ブラシ、ストロー、バケツなどプラスチックのみでできた「プラスチック製品」も「プラスチック製容器包装」と合わせて「プラスチック資源」として分別収集します。来年の2024年10月に一部の区（9区）で先行実施し、2025年4月からは全市で実施されます。

横浜市のプラスチック製容器包装とペットボトルの資源化量は増加傾向

OECD（経済協力開発機構）によると2019年の世界中で発生したプラスチックごみは約3億5300万トンで、そのうちリサイクルされた量は9%しかなく、ほとんどが埋立(50%)や焼却処分(19%)になっています。

横浜市では、2023年度にリサイクルしたプラスチック製容器包装が約5万トン、ペットボトルが約1万4千トン(右グラフ)ありました。過去10年間の推移に大きな変化はありませんが、やや増加傾向にあると言えます。

プラスチック製容器包装の資源化量



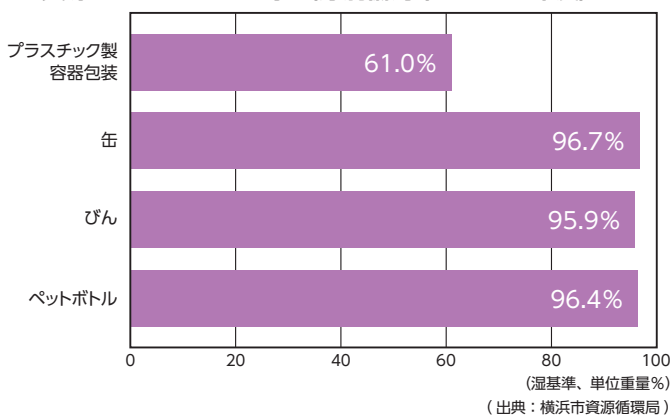
「プラスチックごみの分別・リサイクルの拡大」とは？

横浜市では、市の事業によって排出されるCO₂などの温室効果ガスは2020年度で86.3万トンありました。このうち、ごみ焼却から発生するものが34.0万トンで約4割を占めています。さらに、ごみ焼却で発生する温室効果ガスの約9割がプラスチックごみによるものです。つまり、プラスチックごみの焼却量を減らすことで温室効果ガスの排出を大幅に削減することができるのです。

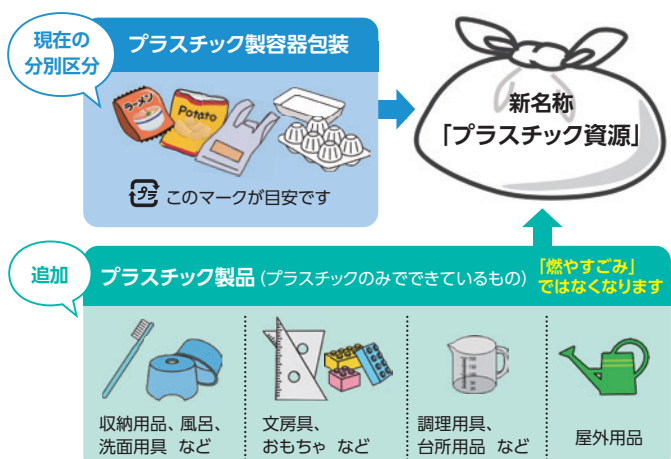
2022年4月に「プラスチック資源循環法」が施行され、プラスチック製容器包装廃棄物以外のプラスチック使用製品廃棄物についても再商品化できる仕組みが設けられました。横浜市でも温室効果ガスを削減するために、現在燃やすごみとして焼却処理している、プラスチック製品を新たに分別収集していくことになりました。現在、「燃やすごみ」となっているプラスチック製品を分別収集することで、「燃やすごみ」に含まれるプラスチックごみを年間約2万トン削減(温室効果ガスとして換算すると約4.7万トンに相当)することを目標にしています。

具体的には、ラップや歯ブラシ、ストロー、バケツなどプラスチックのみでできた「プラスチック製品」と、従来の「プラスチック製容器包装」を合わせて「プラスチック資源」として一括収集することになります。まずは来2024年10月から中区、港南区、旭区、磯子区、金沢区、戸塚区、栄区、泉区、瀬谷区の9区で先行実施し、2025年4月からは全市で実施されます。

資源として出された割合(分別協力率・2022年度)



「プラスチック資源」として分別区分を新設



(出典：横浜市資源循環局)

プラスチックごみの分別・リサイクルの拡大

プラスチックごみの分別・リサイクルの拡大によって、具体的に何が変わるのでしょうか。横浜市資源循環局に伺いました。

Q 分別方法を変える目的は何でしょうか？

石油由来のプラスチックを焼却すると、温室効果ガスである二酸化炭素が多く発生します。そこで温室効果ガスの排出量を減らすために、燃やすごみとして焼却しているプラスチック製品を分別対象とします。

Q なぜ変えるのですか？

温室効果ガスによる気候変動やプラスチックごみによる環境汚染、マイクロプラスチックによる生態系への悪影響が世界的な問題となっています。令和4年4月には、「プラスチック資源循環法」が施行され、SDGsの達成や脱炭素社会の実現などさまざまな課題への対応が求められています。こうした時代の変化に対応していくため、「プラスチックごみの分別・リサイクルの拡大」を実施します。

Q 分別ルールはどのように変わりますか？

これまで「燃やすごみ」としていたバケツやストロー等のプラスチックのみでできた製品、いわゆるプラスチック製品についても「プラスチック製容器包装」と合わせて同じ袋に入れ、「プラスチック資源」として出していただくことになります。

Q 市民の皆さんに注意してほしいことは？

今回の対象は、「プラスチックのみでできたもの」です。

特に次のものは出さないでください。

- 発火性のあるもの：小型家電・リチウムイオン電池を含むもの
- 危険なもの：刃物のようにケガの可能性があるもの
また、プラスチックでできていても一番長い辺が50cmを超えるものはこれまでどおり「粗大ごみ」
- まな板などの厚みがあって固いものは「燃やすごみ」
- ビニールひも・シートなど、広げると50cm以上のものは「燃やすごみ」
- おもちゃや洗濯ばさみなど金属などの複合素材は「燃やすごみ」
- 不織布マスクなどの合成繊維は「燃やすごみ」
- ゴム手袋などの合成ゴムは「燃やすごみ」

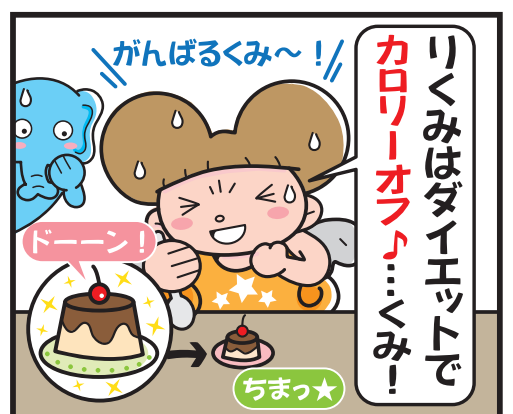
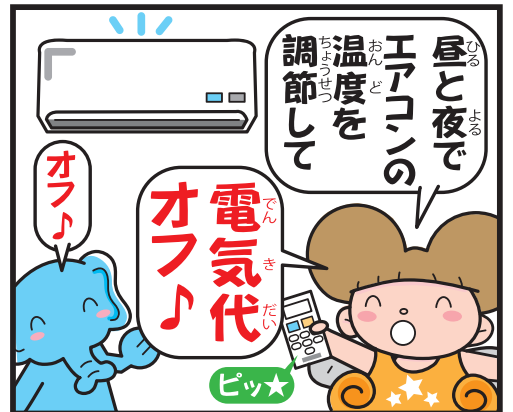
に分別してください。

Q リサイクルの流れは変わりますか？

回収したプラスチック資源は、異物や禁忌品などを取り除き、プラスチック製容器包装とプラスチック製品を一緒に圧縮・梱包を行ったあとに、国の指定法人である日本容器包装リサイクル協会に引き渡してリサイクルします。その後は、再商品化事業者によって「材料リサイクル」「ケミカルリサイクル」が行われ、さまざまな製品や原材料にリサイクルされます。

Q 脱炭素の貢献度はどう変わりますか？

「燃やすごみ」に含まれるプラスチックごみが年間約2万トン減少することで、温室効果ガスに換算して年間約4.7万トンの削減となります。さらに、プラスチックごみの分別とリサイクルを拡大することは、市民の皆さまに脱炭素に向けた意識と行動を変えていただくきっかけとなる身近で具体的な取組であり、ここから脱炭素社会の実現に向けた様々な取組(省エネ行動など)に広げていきたいと考えています。



「SDGs未来都市・環境絵日記展2023」を開催しました

11月26日(日)、横浜市役所1階アトリウムにて「SDGs未来都市・環境絵日記展2023」の表彰式が行われました。ブースエリアでは企業、行政による環境、未来のための情報発信やワークショップも開催されました。

今年度は市内の小学生から3,902作品の応募があり、その作品の中から環境絵日記大賞を受賞したのが、横浜市立中村小学校6年・能勢 歩和さんの「緑がいっぱい 魅力がいっぱいな横浜へ」です。この絵日記では、能勢さんはおうちでたくさんの植物を育てており、「ふと植物が二酸化炭素を吸収して酸素を排出することを思い出しました。そして地球温暖化を食い止めるため、そして横浜を更に魅力がいっぱいにしていくため、もっと花や緑を

育てることに力を入れたい！」と横浜と地球を想う気持ちがかかれています。

表彰式では、優秀特別賞27作品を発表・表彰しました。今年は山中 竹春横浜市長も出席し、横浜市長賞のほか、行政各局の賞を受賞した8名の子どもたちへ市長自ら賞状を授与しました。また、モンゴルのウランバートルからも絵日記8作品の応募があり、子どもたちが自分たちの描いた絵日記を紹介するビデオメッセージも放映されました。さらに横浜市と同様に環境絵日記を開催している高知県とオンラインでつなぎ、高知県の環境絵日記大賞受賞者と、横浜でRD賞を受賞した子どもたちで意見交換を行いました。

その他に、RD賞を受賞した256作品、高知県で開催した環境絵日記か

ら優秀特別賞を受賞した15作品、サンディエゴから届いた12作品、ウランバートルから応募のあった8作品を11月18日(土)から表彰式終了まで展示し、多くの方にご覧いただきました。応募された絵日記は組合HPのWeb展示場からもご覧いただくことができます。ご興味のある方は是非「環境絵日記」で検索してみてください。

ご来場者様ならびにご協力いただきました関係各所の皆様、誠にありがとうございました。



協賛企業 (順不同・敬称略)

主催

●横浜市資源リサイクル事業協同組合

共催

●横浜市

協賛

【企業賞】 ●特定非営利活動法人 横浜市集団回収推進部 ●(株)アブソルート ●(株)安藤建設 ●(株)横浜スタジアム ●(株)エックス都市研究所 ●(株)ハイマックス ●(株)栄港建設 ●太陽油脂(株) ●生活協同組合ユーコープ ●日産自動車(株) ●(株)小俣組 ●(株)ダイイチ ●(株)a・とも総合保険サービス ●横浜グリーン購入ネットワーク ●日本マクドナルド(株) ●(株)GRACE ●大西金属(株)

【ブース出展】 ●生活協同組合ユーコープ(おうちCO-OP)

【作品集サポーター】 ●(株)オフィス・アルファ ●コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株) ●(株)富士紙業 ●(有)工藤紙業 ●(有)マルニ商店

【一般サポーター】 ●青木石油商事(株) ●神奈川県金属原料商工業協同組合 ●協同組合厚木市資源再生センター ●ウォンツ(株) ●神奈川三菱ふそう自動車販売(株) ●キンセイ食品(株) ●大和市リサイクル事業協同組合 ●(株)オカムラ ●横浜資源化協議会 ●神奈川県リサイクル産業団体連合会 ●影近総合税理士法人 ●高梨乳業(株) ●ガラスびん3R促進協議会 ●新明和工業(株)特装車事業部 神奈川営業所 ●東洋ガラス(株) ●(株)東京エンジニアリング ●タテバ(株) ●(株)エフオージー ●尾鈴電気(株) ●藤沢市資源循環協同組合 ●神奈川県硝子原料商業組合 ●(株)大塚商会 ●コマツカスタマーサポート(株) ●日本キャタピラー合同会社 ●(株)関東古紙商事 ●宗村 隆寛 ●影島興産(株) ●横浜アルコ(株) ●(株)山陽紙業 ●遠藤商店 ●ナカノ(株)

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからもご覧いただけます。

<https://www.recycledesign.or.jp/rd/>

スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。

